

UVインキ

## UV 蛍光 SE シリーズ

『UV 蛍光 SE』シリーズは、新規原材料の開発・新たな製造方法の確立により、従来の“UV蛍光”シリーズの欠点（UV硬化性、一般UVインキとの相溶性）を改善した紫外線硬化型蛍光インキです。

### ■ 特徴

- ▶ 高濃度である。
- ▶ 紫外線硬化性に優れる。
- ▶ 密着性レベルは“UV161”と同等。
- ▶ 一般UVインキとの相溶性に優れ、特色インキに使用できる。（“使用上の注意”参照。）
- ▶ オフセット印刷およびドライオフセット印刷、樹脂凸版印刷に使用可能。
- ▶ 保存安定性に優れる。

### ■ 設定色

ピンク ・ レッド ・ オレンジ ・ イエロー ・ グリーン

### ■ 使用上の注意

- ▶ そのまま使用できますが、粘度調整を行なう場合には“UV DGLレジュース”（5%まで）または“№.2UVコンテックス”（15%まで）をご使用ください。
- ▶ この蛍光インキを使用して特練インキを作製する場合は、“UV 161”、“UV カートンGE”もしくは“UV Lカートン”をご使用ください。混合インキの保存安定性は、通常UVインキと同等です。
- ▶ “UV 蛍光-P”シリーズとの混合使用は避けてください。相溶不良によって、インキ流動性が悪化します。
- ▶ 耐光性については、他の蛍光インキと同じく良好ではありません。過剰なUV照射を行うと、変色する場合があります。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート（SDS）をご一読願います。

- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。  
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。  
取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。  
皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/01/19 No.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。